記録担当：高森

地盤品質判定士会中部支部
令和４年度　第６回　幹事会　議事録

Ａ．日　時　　2023 年 3 月 17 日(金)　15:00～17:00

Ｂ．場　所　　基礎地盤コンサルタンツ(株)中部支社 1F 会議室 および Zoom

Ｃ．出席者　　千野、桃井、利藤[欠]、向井[W]、谷口、長沼、居川[欠]、荒井、小嶋[W]、斎藤[W]、堀中、倉橋[欠]、山本[W]、品川[W]、金森[W]、山名、植田[W]、小山[W]、後藤[W]、高森　　([欠]は欠席、[W]は Zoom 参加、敬称略、順不同)

Ｄ．配布資料

・報告-1　地盤品質判定士会中部支部令和 4 年度第 5 回幹事会議事録の確認
・報告-2　本部第 6 回幹事会報告
・報告-3　宅地の地盤相談報告
・報告-4　相談料対応フローの改善について
・報告-5　幹事交代について
・審議-1　令和 4 年 9 月 実施の講習会報告について
・審議-2　総会の企画について

Ｅ．報告事項

1. 前回議事録の確認（報告-1）

前回幹事会(1/19)の議事録を確認した。

2. 本部第 6 回幹事会報告（報告-2）

1)講習会の費用について

講師等謝礼金や講習会会費について単価設定案が示された。今後、協議の上で基本単価として決定するが、絶対の金額ではないものとする。

2)2023 年度幹事会の日程について

来年度の幹事会日程案が示された。これを参考に中部支部の幹事会日程も調整する。

3)「ぼうさいこくたい 2023」について

「ぼうさいこくたい」が 9/17,18 に横浜国立大学で開催され、地盤品質判定士会も参加する。活動は神奈川支部が主体で実施するが、今後、中部支部に協力の依頼がくる可能性がある。

4)相談員登録規定改訂について

地盤品質判定士会相談員登録規定の改定案が示された。大きな改訂は、今後、更新に

伴う条件を満たす必要が生じることとなった。

5)相談案件件数と技術分野報告について

相談状況と技術分野についてのとりまとめ資料が示された。最近の傾向として、購入予定地の地盤安定に関する相談が増えている。また、相談件数は NHK の番組で地盤品質判定士が紹介された後、増加している傾向にある。

6)令和 5 年度開催予定の講習会等日程について

開催日程について示され、これを参考に中部支部の行事日程(講習会やフェスタ参加等)を検討する。

7)「地盤評価および判定士の位置づけ検討 WG」報告

上記 WG が設置され、3/27 に第 1 回目が開催された。今後、地盤品質判定士という資格をどういう場合にどのように活用するのかなど、立ち位置・役割を模索する必要がある。そのため、今回『宅地業界の課題解決に向けて地盤品質判定士として取り組むべき改善策』の課題整理を実施していく。この WG の検討結果は 5 月の本部幹事会での最終報告を目指す。

8)収支実績＆収支予想(2022 年度)

本年度の見通しは赤字となる。来季の予算については、費用の縮減及び増収についてさらなる努力が求められる。

9)安全道具の販売について

地盤品質判定士の活動に積極的な使用してほしい。

10)技術者資格の登録について

国土交通省の技術者資格登録の更新が無事完了した。今後も毎年の審査に対応する。

3. 宅地の地盤相談報告（報告-3）

1)相談状況について

2022 年度の問合せ件数は 10 件で、NHK スペシャルの放送以降(1/14)に相談が増加した。また、有償希望での相談もあり、小嶋幹事、植田幹事が対応した(愛知県知多郡の相談については現在 3 回目の有償相談に対応中)。

2)問合せ回数等制限設定について

新規土地購入を検討するための情報収集として相談に来るが、回答はどうしてもネガティブ寄りのコメントになりがちとなるため、購入を躊躇して何度も相談することになる。三回目以降は有償とするなどの制限を設定するべきか検討したい。

3)見積りナンバーの採番について

見積りナンバーの採番方法は、現在は「CB-2023-03」の様に決めている。しかし、有償対応の見積りが連続で続き、複数人で処理すると、見積ナンバーが重複する可能性がある。重複防止のため、「CB-2023-001-03」と項目(お客様 No.)を増やす提案がされた。現状で発生している見積り案件は現行の方法で対応するが、今後については採番方法及び変更時期について検討する（作成及び処理の運用観点で品川幹事主査・長沼幹事

主査で決めて頂き案内頂く)。

4)住民相談対応への負担軽減について

相談員への負担軽減について本部問合せ回答を紹介した。

今後、中部支部では以下についての対応を検討していきたい。

・対応可能範囲について検討し、ガイドラインとして表記したい。

・免責事項について

・幹事会内のみんなで回答を考えながら対応するなど、少しでもやり易く、精神的負担を軽減できる方法

4. 相談料対応フローの改善について（報告-4）

1)相談料の処理方法と中部支部の対応について

旧対応フローと現在の対応フローについて示された。企業内判定士は現在のフローで対応することが難しく、中部支部の有償対応物件は旧型のフローを用いている。

見積りや請求書の書式は、本部からのエクセルファイルがあり、それを使用している。

※植田幹事より：本部から頂いた書式の見積項目に「現地踏査」「評価書作成」という項目が記載され流用したが「現地概査」等、内容に応じた適切な項目名に修正するアドバイスを頂いた。→何らかの方法で中部支部のフォーマット共有を図ることとする

2)電子取引データのタイトル記載方法について

電子データのファイル名は下記のとおりに統一化されている。

【書類名】(スペース)西暦下 2 桁+日付(スペース)金額(スペース)取引先名 (例)2022/9/13 に A 社(株)に 10 万円の請求書を発行した場合 【請求書】 220913 100000 A 社

5. 幹事交代について（報告-5）

荒井幹事が異動のため北林様に交代する申し出を頂く。幹事会として了承。

荒井幹事が務めているグループ長は、広報グループの小嶋幹事、斉藤幹事に交代頂く（グループで相談し決めて頂く)。

6. その他

令和 5 年度の地盤品質判定士の試験は名古屋会場でも試験を開催する予定である。試験会場運営の協力要請が中部支部に来る予定である。

F．審議事項

1. 令和 4 年 9 月 実施の講習会報告について（審議-1）

本年度に中部支部で実施した現地・WEB のハイブリッド形式の講演会について開催報告を受け、内容を了承された。

2. 令和 5 年度総会の企画について（審議-2）

2-1 令和 5 年度総会案について

1)開催日程・場所

下記についての提案があり、了承された。

・開催日時は、5 月 19 日 15:00～16:30 で提案され、了承された。

・場所は名古屋大学減災連携研究センター(現地・WEB のハイブリッド形式)

・会場の予約は行事 G で対応する。

2)話題提供

幹事会からは桃井幹事長、堀中幹事に話題提供をお願いする。あと 1 名は減災センターの方にお願いできるかを千野支部長に確認いただく。

3)地盤相談件数

相談件数は現在 10 件であるが、3 月分までを含めて報告する。

3)ホームページによる広報活動の報告

本年度はリンクの整理などより使いやすく改修していることから、記載内容について更新を検討する(広報 G)

2-2 役員の選出について

役員の選出に関し、「幹事については幹事会の承認により期中での選出、交代を可とする。」を追記することを提案し、了承された。

2-3 令和 5 年度事業計画案

来期の事業計画案について説明され、了承された。

新幹事の公募を今年も行うことについて提案あり。了承された。(負担軽減、スムースな運営の観点であと 2、3 人は幹事の増員が必要。多様性の観点で女性幹事の応募もあるとよいと考えている。)

G. 次回幹事会の予定

・2023 年 5 月 25(木)予定

ただし、総会(5/19)の準備会として、5 月初旬に ZOOM での開催を予定。

以　上